

安全・安心の定義

2015年3月13日(金)
全国病院経営管理学会
診療放射線業務委員会
岩槻南病院 立澤 正浩

安全・安心

文部科学省 定義

安全

安全とは、人とその共同体への損傷、
ならびに人、組織、公共の所有物に損害がないと
客観的に判断されることである。ここでいう所有物には
無形のものも含む。

安心

人が知識・経験を通じて予測している状況と大きく異なる
状況にならないと信じていること、
自分が予想していないことは起きないと信じ、
何かあったとしても受容できると信じていること。

診療放射線業務委員会 定義

安全

病院 医療者 装置メーカーなどが患者に
「より良い医療を提供するために行う行為」の
なかでも特に、リスクマネジメント、
およびアメニティーの向上に寄与する行為

(医療者が行う行為)

診療放射線業務委員会 定義

安心

病院 医療者 装置メーカーなどが行う安全対策により、
患者が提供される医療に満足する気持ち。

また何らかの原因で、目的と違った結果になった時にも、
受容出来るように説明されていること。

医療者側と患者との信頼関係があって初めて成り立つ

(患者が感じる気持ち)

安全・安心の医療

「患者さんの立場からの医療」と捉え
医療過誤、合併症などの有害事象への
対策だけでなく、
待合室の環境や検査に対する印象なども
含んだ取組みとしました。

「患者の立場からの医療」を実践するためには、

「患者が放射線科の検査を
どのように感じているのか」

を客観的に知ることが第1歩と考えました。

そこで今回はシェルモデルを参考に
アンケートの項目を検討しました。

シェルモデル (SHEL Model)

ヒューマンファクター工学を説明するためのモデル。

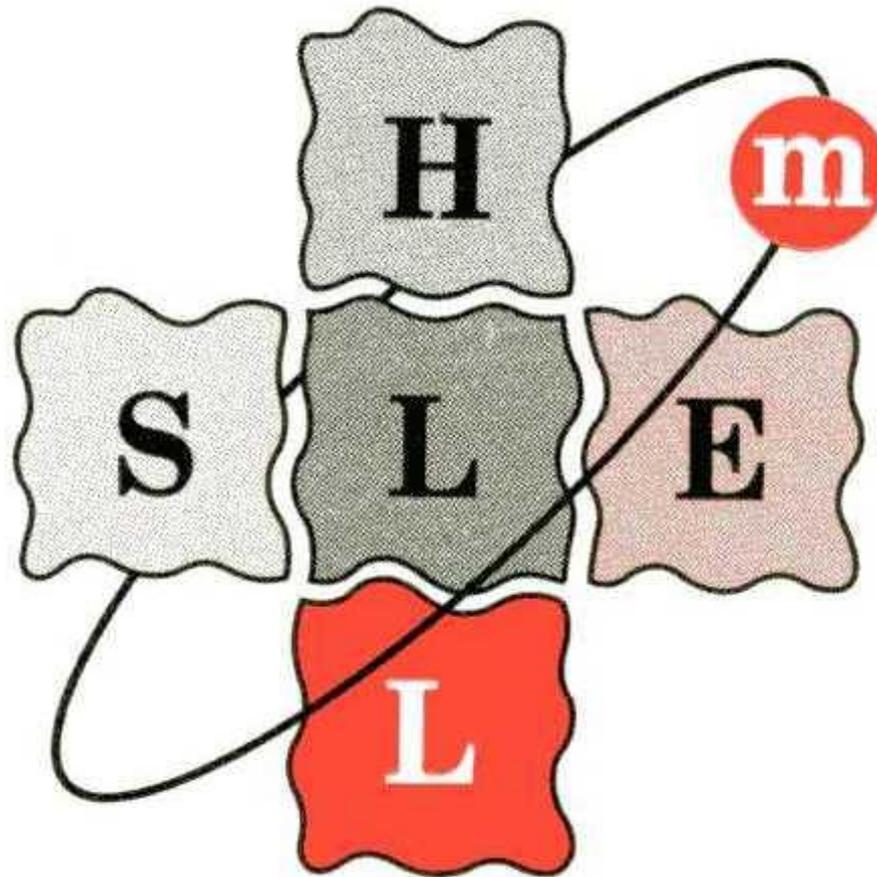
1972年 英国マンチェスター大 エドワーズ教授が原型を作成

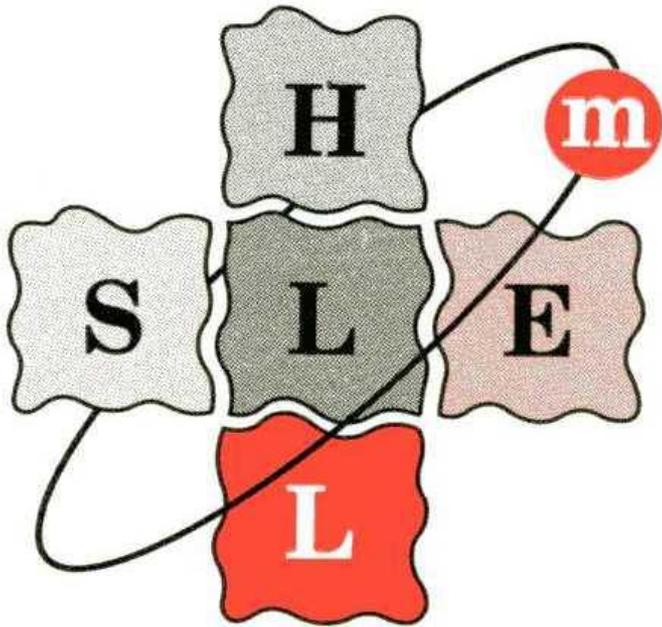
1975年 KLMオランダ航空のホーキンスが改良

m-SHEL Model

1994 河野龍太郎

自治医大 メディカルシュミレーションセンター





中心のLを患者さんと捉えると
医療行為を行うにあたって
様々な要因が取り巻いています。

S: ソフトウェア【software】

マニュアルなどの取り決め 説明、同意書など

H: ハードウェア【hardware】

装置の形状 性能など

E: 環境 【environment】

部屋の明るさや匂い、清潔感など

L: 放射線技師【liveware】

患者さんへの対応 言葉 コミュニケーションなど

※ **m:** マネージメント

病院長、放射線科技師長など。

アンケートについて

今回は各々のモダリティについて

- S 検査についての説明が十分であったか
- H 機械の印象
- E 待合室・検査室の環境や印象
- L 職員の態度

などを調査しました。

また、それぞれのモダリティのメーカーより各社が安全・安心について考慮している部分についても資料提供して頂きましたのでそれも報告させていただきます。